

2014年

前年十一月二十五日の

辻井喬会長の逝去にともない、三月の評議員会・理事会で会長に黒井千次氏が、副会長・理事長に池辺晋一郎氏が選出され、新体制のもとで文化分野の交流を一層推進していくことを確認した。十一月十日、アジア太平洋経済協力会議(APEC)出席のため北京を訪問した安倍晋三首相が習近平国家主席と会談した。尖閣問題で断絶していた日中首脳会談は、二〇一一年十二月以来、約三年振りであった。この年、南海でフィリピンやベトナムと中国が対立緊迫。香港で民主化デモ、雲南省でM六・五の地震。

二〇一四年の主な交流

◎2月 巴金故居の周立民常務副館長らが当協会に來訪。

◎3月 評議員会・理事会で黒井千次氏が会長、池辺晋一郎氏が副会長・理事長、永井和子氏が副理事長に就任。

中川美術館開館二十五周年記念「古元 絵画名作展」(同美術館、当協会、朝日新聞社、人民中国雜誌社が主催)広島・福山で開催。北京の中央美術学院附属中等美術学校創立六十周年行事に女子美術大学付属高等学校・中学校の小川正明校長、東洋美術学校の中込三郎校長らが出席、当協会が協力。

◎4月 東京で「辻井喬前会長を偲ぶ会」(当協会主催)。寧波仏教文化訪日団(楊古城団長ら一行十一名)來日。

◎5月 日本書道界囲碁愛好者訪中団(大井錦亭団長、高際翠那、友井幸雄、南八郎、永田圭介、小阪裕二秘書の諸氏)訪中。日中文化交流協会代表団(團紀彦団長、杭迫柏樹、周防正行、佐藤純子、中野暁、山本英二秘書の諸氏)訪中、中国人民対外友好協会創立六十周年記念式典に出席。中野裕也氏(模型愛好家)の招きで「静岡ホビーショー」参加の愛好家が來日、当協会が協力。

◎6月 中国文学芸術界連合会代表団(奚美娟団長、劉文華、楊乃安、馮莉、薛伶、陳鏡如の諸氏)來日。



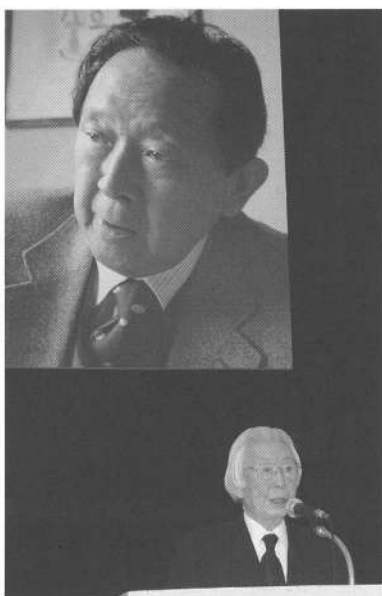
中国人民対外友好協会創立60周年記念式典に、蔡武文化相(左二)とともに参加した日中文化交流協会代表団の團紀彦団長(中、当協会評議員)、杭迫柏樹(右二、同常任委員)、周防正行(右一、同常任委員)、佐藤純子(左一、同理事)の諸氏

—5月15日 北京・人民大会堂



上海市文学芸術界連合会一行が觀世流宗家の觀世清和氏(右一、当協会理事)を訪問。舞台衣装や面について紹介を受けた

—十月十五日 東京



前年に逝去した辻井喬前会長を偲ぶ会に各界から三〇〇名余りが参加した。協会を代表して挨拶を述べる黒井千次会長

—二〇一四年四月三日 東京

◎7月 文化講演会「今、日中関係を考える」開催、毛里和子氏(早稲田大学名誉教授)が「日中抗争時代へ」、高原明生氏(東京大学教授)が「新世紀 中国の変容」と題して講演。日本経済界訪中団(杉田亮毅団長・日本経済研究センター代表理事、平田保雄日

本経済新聞社会長、作家の安部龍太郎氏、上條清文東京急行電鉄相談役、立石文雄オムロン会長、弁護士鶴田哲朗氏、作家の高樹のぶ子氏、中川秀直元衆議院議員、服部重彦島津製作所会長、平澤貞昭横浜銀行特別顧問、中野暁秘書長、池田尚広秘書の諸氏ら一行十七名訪中。

◎8月 寧波仏教建築視察団(寧波北倉清修寺の上通住職ら)が團紀彦建築設計事務所招きにより來日、当協会が協力。日本作家訪中団(佐藤洋二郎団長、近藤洋太、富岡幸一郎、城戸朱理、小野田桂子、横松心平、池田尚広秘書の諸氏)訪中。

◎10月 舞劇「朱鷺」プレビュー公演



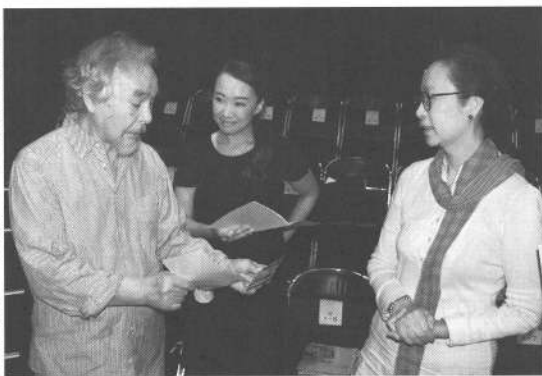
樊錦詩敦煌研究院院長(後列中央)の歓迎を受ける杉田亮毅団長(樊院長左)ら日本経済界訪中団一行。研究院接待部の李萍主任(前列左一)と

—7月25日



佐藤洋二郎団長(前列中央、当協会常任委員)ら日本作家訪中団と中国作家協会の陳建功副主席(同右)らとの座談会。陳喜儒(同左)、(後列右から)李錦琦、劉憲平、柳建偉、近藤洋太、富岡幸一郎、許金龍、城戸朱理、小野田桂子、横松心平の諸氏

—9月3日 北京



文学座公演「信じる機械」を鑑賞後、出演した川辺久造氏(左)、松岡依都美氏(中)らと歓談する中国文学芸術界連合会代表団の奚美娟団長(右)

—六月五日 東京

(民主音楽協会、中国人民対外友好協会が主催、当協会などが後援)、李小林対外友協会長が来日、観劇した安倍晋三首相と会談。日中友好会館の招きで中国青年芸術関係者代表団(王占起団長ら一行六十二名)来日、当協会が協力。中国人民対外友好協会代表団(戸思社団長、黄玲、唐思領、潘林、付博の諸氏)来日。上海市文学芸術界連合会代表団(劉兵団長、王聳、李俊、史学東、郭燕歌の諸氏)来日。中国劇家代表団(崔偉団長、汪剛、李華藝、段雨強、劉薇の諸氏)来日。「鑑真和上の中国での足跡を尋ねる旅」訪中団(松浦

俊海団長、石田智圓顧問、團紀彦顧問、中野暁秘書長、守田文子、中島一郎、團侯一、西田安男、本庄巖、大谷たつ、北村弘彦、原田知成、長谷川松男、茂木雅博、名古屋隆俊、浅野久廣、佐久間百合、奥西伊佐男、萩原加代子、山木一美、山木尋子、三宅信彌、三宅照代、山中竹史、楊琳、掃部光昭、アンナマリア・真如・マツラーディ、中嶋しのぶ、正垣肇、山田俊行、永田勝志、大橋美代子、北村佳世、郭静、山崎妙円、中野陽太、竹内知照、関根ふみ秘

書、山本英二秘書の諸氏)訪中。
◎11月 中国・フェニックステレビ取材団(王魯湘団長らの諸氏)来日。日本「中国現代文学研究者」訪中団(吉川龍生団長、櫻庭ゆみ子、松倉梨恵、関根ふみ秘書の諸氏)訪中、巴金生誕一〇〇周年記念シンポジウムに出席。
中国未来医学代表団(王秀雲団長らの諸氏)来日、当協会が協力。天津大学美術考察団(劉新華団長)来日。
◎12月 中国文化部楊志令副部长が来日、栗原小巻副会長、團紀彦評議員、観世清和理事が昼食会に出席。



松浦俊海団長(前列左三、当協会顧問)、石田智圓顧問(同右三)、團紀彦顧問(同右二、当協会評議員)ら「鑑真和上の中国での足跡を尋ねる旅」訪中団一行39名が張家港、揚州、南京、寧波を訪問

—10月30日 寧波

2015年

前年に続き、安倍晋三首相が四月にジャカルタ、十一月に北京で、習近平国家主席と相次いで会談、日中関係が改善の方向に向かった一年であった。

文化各分野の相互往来のほか、中日友好協会の招待で大学生訪中団五十名が



磯崎新団長(右三)設計の日本侵華罪行館を含む建川博物館集落を參觀する日中文化交流協会代表一行。樊建川館長(左一)、中日友好協会の沈海婷氏(右一)と

—二〇一五年十一月五日 成都・大邑県

招かれた。日本各地十九の大学の学生で編成され、文学、芸術、医療など異なる分野の団員によって訪問各地で次世代を担う若者の交流が行なわれた。

二〇一五年の主な交流

◎3月 文化講演会「今、日中関係を考えるⅡ」開催、飯塚容氏(中央大学教授)が「戦後日本における中国現代文学の翻訳紹介」、張競氏(明治大学教授)が「戦後の日中作家の交流とその意味について」と題して講演。中国人民対外友好協会の招きで、辻井喬前会長令息堤たか雄氏(セゾン現代美術館代表理事)、中野暁専務理事、池田尚広秘書が訪中。劉建超外務次官補が



女子美術大学付属高・中学校が創立100周年を迎え、長年同校と交流している中央美術学院附中の馬剛校長(右三)、潘皓氏(左三)が来日して祝意を表した。両氏を歓待する女子美術大学の大村智名誉理事長(右二、当協会常任委員)、入江観顧問(左一、同理事)、付属の小川正明校長(右一)、服飾デザイナーの陳福美氏(左二)

—10月30日 東京

来日、永井和子副理事長が中国大使館主催の夕食会に出席。王旭東敦煌研究院院長講演会「敦煌石窟と敦煌研究院七十年の歩み」(東京藝術大学主催、当協会協力)開催。

◎4月 寧波文化代表団(林黎明団長、徐錦寶、於效祥、錢秀嫻、王蕙蕙、任偉の諸氏) 来日。

◎5月 中国文学芸術界連合会代表団(周濤団長、龍開勝、寇士愷、劉尚軍、陳鏡如の諸氏) 来日。中野裕也氏(模型愛好家)の招きで「静岡ホビーショー」視察のため中国から愛好家が来日。CCTV(中国中央電視台)の招きで、栗原小巻氏が訪中、特別番組「国際児



「巴金と日本の写真・文献展」。1986年に演出家の千田是也、日本画家の東山魁夷氏とともに巴金氏の自宅を訪ねた思い出を振り返る栗原小巻副会長(中)。解説する周立民巴金故居常務副館長(右)、中国大使館の榮鷹公使参事官(左)と

—9月5日 慶應義塾大学

童データの夕べ」に出演。

◎6月 「上海・日本映画週間」(当協会が特別協力)が上海で開催。西田敏行氏出演の「マエストロ」などを上映。四川省人民対外友好協会代表団(羅玉彬会長、向瓊花、傅曉榮、孫懷科、陳海蓓の諸氏) 来日、当協会に來訪。

朱旭氏(北京人民芸術劇院俳優)、洪洲氏(シナリオライター)、朱小蘭氏(朱旭氏令息)、何蓮芳氏(洪洲氏夫人)が来日。

◎7月 東京で「朱旭氏、洪洲氏 歓迎の集い(映画・演劇・囲碁)」(当協会、神林留學生奨学会主催)開催、京都で歓迎茶話会開催(当協会主催)。

日中文化交流協会代表団(宮廻正明団長、中野暁秘書長、伊東順一、平論一郎、三橋一弘、並木秀俊の諸氏)訪中、寧波市人民対外友好協会の招き、「中国青磁の故郷 龍泉を訪ねる旅」訪中団(入江観団長、大和宏康副団長、徳留大輔、茂木雅博、大槻圭子、田部隆幸、田部裕子、保浦泉、金田睦、関根ふみ秘書の諸氏)訪中。中国人民対外友好協会代表団(宋敬武団長、欒宇滔、程海波、王愷寧、付博、沈海婷の諸氏) 来日。

◎8月 愛知開催の世界少年野球大会(日本少年野球連盟主催)に中国少年野球選手団(張剛団長)一行二十六名参加。日本演劇家訪中団(水谷内助義団長、丹野郁弓、高橋紀恵、白川浩司、山本英二秘書の諸氏)訪中。



中国人民対外友好協会の宋敬武副会長(右一)とセゾン現代美術館の堤たか雄代表理事(左一)、ともに滞在経験の長いフランスの芸術について語った。樂宇滔氏(右三)、程海波氏(右二)、中野暁専務理事(左二)と

—7月14日 東京



東京藝術大学の招聘教授として来日していた敦煌研究院の王旭東院長(中央)が、日本経済新聞社を訪問した。(右へ)喜多恒雄会長、平田保雄顧問、(左へ)岡田直敏社長、佐藤雅徳顧問

—3月23日 東京



遲志剛上海市文学芸術界連合会副主席(右四)をはじめ、上海の文化界人士と歓談した日中文化交流協会代表団。(右へ)永井和子団長、酒居石荘、(左へ)瀧井敬子、中上紀の諸氏

—9月6日

「中国青磁の故郷 龍泉を訪ねる旅」訪中団。龍泉青磁の伝統技術継承者である徐朝興氏(左一)を訪問した入江観団長(右手前)、大和宏康副団長(同奥)、茂木雅博氏(左二)

—七月十一日



◎9月 慶應義塾大学文学部創設二五周年記念「語りつくせぬ感情―巴金と日本の写真・文献展」(同大学文学部主催、三田文学会、当協会共催)開催、巴金故居代表団(周立民団長・常務副館長ら)が来日し、シンポジウム「巴金と日本、および日中学术交流に関するシンポジウム」に出席。日中文化交流協会代表団(永井和子団長、酒居石荘、瀧井敬子、中上紀、竹本リサ秘書の諸氏)訪中、上海市文学芸術界連合会の招き。日本経済界訪中団(平田保雄団長・日本経済新聞社顧問、秋山智史富国生命保険相互会社会長、芦田昭充商船三井相談役、作家の安部龍太郎氏、大浦溥アドバンテスト名誉顧問、尾崎護矢崎総業顧問、木村恵司三

菱地所会長、島田精一日本ユニシス特別顧問、橋田紘一九電工相談役、森清一エムシー社長、和田滋日本経済新聞社グローバル事業局部長、中野暁秘書長、山本英二秘書の諸氏ら)訪中。中国音楽家代表団(余隆団長、胡志平、鄒野、方瓊、李紅東の諸氏)来日。◎10月 日本文化界囲碁訪中団(大井錦亭団長、神林章夫顧問、神林信子、中野暁秘書長、南八郎、郷原宏、片瓜和夫、荒井智晴秘書の諸氏)訪中、杭州棋院の招き。「シルクロード 敦煌の旅」訪中団(前村大成、大間知雄三、

小畑節朗、斉藤明、照沼真理恵、野崎ほし、前村淳子、山木一美、山崎敬子、池田尚広秘書長の諸氏)訪中。◎11月 日中文化交流協会代表団・参加団(杭迫柏樹団長、木代喜司、横山喜八郎、岡村倫行、高梨芳実、杭迫喜久子、田村弘子、横山美保子、木村好博、鈴木祐子、関根ふみ秘書の諸氏)訪中、中国文学芸術界連合会の招き、受け入れ。日中文化交流協会代表団(磯崎新団長、中野暁秘書長、土居義岳、大澤真幸、原武史、染谷李枝の諸氏)訪中。日本「京都文化界」訪中団(竹内浩一団長、渡邊信喜、小倉大宇、貴道俊行、中村鳳男、竹本リサ秘書の諸

氏)訪中。日本文化界訪中団(角川歴彦団長、夢枕獺副団長、中野暁秘書長、天野喜孝、叶松谷、池田尚広秘書の諸氏)訪中。日本中国文化交流協会大学生訪中団(佐川光晴団長、竹本リサ秘書長、山本英二秘書、倉本理差子秘書ら)一行五十名訪中。寧波博物館代表団(莫意達団長、江懷海、張亜紅、施建華、陳明良、任偉、龔纓晏、虞琰の諸氏)来日。